



第4回 富塚小学校運営協議会

令和7年1月31日

14:00~15:00

会議室

開会 開催要件（委員の過半数の出席）確認 <司会：教頭、記録：CSディレクター>

1 会長挨拶

2 校長挨拶

3 議長の選出 <出席した委員の互選>

4 前回会議録確認

5 熟議 <司会：議長>

(1) 学校関係者評価

令和6年度学校評価の結果と考察、改善案（教務）

（「いじめ防止等のための基本的な方針について」含む）

(2) 来年度の学校運営の基本方針の概要説明（校長）

(3) 学校運営協議会の自己評価について（会長）

6 報告 <司会：教頭、記録：CSディレクター>

・夢育やらまいかCS加算分の報告（教頭）

・学校支援コーディネーターから

7 連絡

(1) 次年度第1回 令和7年4月24日（木）13:30~15:00 会場：会議室

(2) 会長・副会長の確認（継続）

閉会

第4回 富塚小学校運営協議会名簿

学校運営協議会委員

会長	吉原 忍
副会長	鈴木 秀俊
委員	萩原 孝英
委員	小宮山 文博
委員	久保田 智彦
委員	鈴木 佐知
委員	笠原 大輔
委員	平出 裕美子
委員	高橋 麻由美 (学校支援コーディネーター)

オブザーバー

富塚協働センター	門奈 保典
地域代表	小楠 佳子

学校支援コーディネーター

—	水野 敦子
—	鈴木 敦子

学校

校長	村松 一彦
教頭	古宮 康子
教務主任	池内 伸彰
CSディレクター	新田 久美子

浜松市教育委員会

教育総務課	鈴木 陽子
-------	-------

令和6年度 第3回 富塚小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年11月28日（木） 14時00分～15時00分
- 2 開催場所 富塚小学校 会議室
- 3 出席委員 吉原 忍、鈴木 秀俊、萩原 孝英、久保田 智彦、鈴木 佐知、笠原 大輔、平出 裕美子
- 4 欠席委員 小宮山 文博、高橋 麻由美
- 5 オブザーバー 門奈 保典（富塚協働センター）、小楠 佳子（地域代表）
- 6 学校支援コーディネーター 鈴木 敦子
- 7 学 校 村松 一彦（校長）、古宮 康子（教頭）、池内 伸彰（教務主任）、新田 久美子（CSディレクター）
- 8 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
- 9 傍 聴 者 なし
- 10 会議録作成者 CSディレクター 新田 久美子
- 11 議長の選出

司会の教頭から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、鈴木秀俊委員が本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

12 協議事項

（1）キャリア教育について

13 会議記録

司会から、委員総数9人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）キャリア教育について

議長の指示により、教務主任から全国学力・学習状況調査の結果について、続いて教頭から本校のキャリア教育について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・富塚小の子供たちはいろいろな力を持っているのに、自分で考え自分で取り組む力が弱いというのはなぜなのか。取り組み方が分からないのか、それとも問題解決の方法が分からないのか。（萩原委員）
 - 夢を持っているかなどの大きな問いには答えやすいが、小さなステップ、目の前の事柄に対する努力のやり方がつかめていないのかもしれない。（鈴木秀俊委員）
- ・いろいろな分野で活躍している人の話を聞けば、具体的に何をすればよいのか、実現の方法が分かるかもしれない。人から教えられるのではなく自分自身でこうすればよいということを発見できるとよい。（萩原委員）

- ・浜松市のキャリア教育では、目標を立てて振り返りを行うということをすでにやっている。今やっていることはすごいことだと思うので、そのまま続けていってほしい。（久保田委員）
- ・子供たちは、夢を持っているけれどまだ遠いところにある。目標は立てているが、達成して終わっていると思う。その後どうしたらよいかを反省したり熟考したりすることが大切なのではないか。クラブ活動もみんな真面目に頑張っているが、楽しかったね、で終わっている。その先を想像する力が乏しいのかもしれない。振り返り、その先を考え言葉に表す時間がもう少しあるとよい。そのような経験を積み重ねてほしい。（鈴木佐知委員）
- ・富塚の子は落ち着いていて真面目であるが、クラブ活動の様子を見てみると、楽しいのにすごく静か。表現力が乏しいのではないかと少し気になっている。中学校のアンケートなどでも、優秀な子が多いのに自己肯定感が低いということがあるようだ。このことが自分で考え取り組む力が弱いということにつながっているのかもしれない。チャレンジする気持ちがどれくらいあるのか見えにくい。失敗してもいいからやってみようという気持ちをもつことが必要なのではないか。（学校支援コーディネーター）
- ・キャリア教育については今やっていることを継続してもらいたい。新たな取り組みを増やす必要はないように思う。（笠原委員）
- ・1年生の早いうちから、目標を立てたらそのためにどう頑張っていくかを考えることを習慣にさせればよいのではないか。夢だけではなく日々の目標を達成するためにどうすればよいか、その過程を常に考えさせることが大切だと思う。（平出委員）
- ・「ワンピース」という漫画があるが、その主人公のルフィは「海賊王になる」ことを目指していてゴールがはっきりしている。自分の強みも弱みもよく分かっていて、海賊王になるために自分の強みを生かして、また弱みは仲間に補ってもらいながら進んでいく。先程自己肯定感の話が出たが、その上に自己効力感という言葉がある。自分ならできると信じることはとても大切なことである。子供たちには、自分で思っているだけではなく夢を言い続けてほしい。自分の強みを知ってそれを生かしていってほしいと思う。（吉原会長）
- ・人生で一番悩んだのは大学を卒業するにあたって自分に何ができるかを考えた時である。最終的には自分の好きなこと、これなら一生続けられそうだと思うものを選んだ。好きなことや得意なことをやって褒められるとうれしい。一言褒めるのは大事なことだと思う。周りから褒められることによって、自分の強みを見つけられるのではないか。（萩原委員）

報告

学校支援コーディネーターより、2学期これまでの活動報告があった。

- ・藤本陽子さんの講演会を行った。
- ・1、2、3年生の校外学習では学習支援ボランティアを募集した。
- ・10月31日、11月7日にクラブ活動を行った。16の充実したクラブの活動ができた。
- ・11月の週末にボランティアを募集して草取りを行った。
- ・浜松へちまプロジェクトから種をもらって栽培し、へちまスポンジを作った。

- ・ 今後は琴教室、雅楽教室、5年生児童と一緒に花壇作り、つくし学級さつまいもパーティーなどの活動を予定している。

その他の報告事項

会長から、学校運営協議会自己評価表についての説明と12月16日（月）までに提出していただきたい旨の確認があった。

また司会から、

- ・ 次回会議を令和7年1月31日（金）14時00分から富塚小学校会議室で開催すること
- ・ 次回の議長について

の確認があった。

令和6年度 学校運営協議会自己評価表
まとめ

＜本年度の目標＞

- ・各担当機関、団体がそれぞれの役割をさらに発信していく。また地域においても協議会の活動がより活発になるよう発信していく。
- ・協議した内容（登下校時の見守り活動）の実施、結果までたどることが少なかったので、「これができる」という明確なものがいくつもできるようにする。（特に現場の先生方と）

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・基本方針について校長から詳しい説明があり理解できた。
委員（保護者・地域住民）の意見も活発に出され、それらをもとに熟議を深めることができた。意見や疑問が出たことでさらに学校側の対応策等を聞くことができ委員で共有することができた。
- ・学校運営の基本方針「ともに輝く富塚の子の育成」についてのわかりやすい説明があり、理解することができた。熟議し、様々な意見の交換ができた。
- ・校長からの詳しい説明を受け理解することができた。富っ子かがやき発表会を見ても子供たちの「感じ、考え、行動する」姿を感じることもできた。
- ・キャリア教育については、現在から未来へ向けて、今すべきことを考えることができ、色々な意見も聞けて良い話し合いができたと思う。毎年のことながら校長からの基本方針はわかりやすいもので取り組み方についても同様。
- ・地域（自治会）PTA役員経験された方々より多角度から意見をうかがうことができた。
- ・富塚地区は自然に恵まれのびのびと穏やかな子供たちが多いと思います。その地域特性を生かしこれからの子供たちに何かレガシーを残し伝統となれば、等熟議ができた。
- ・小学校の校訓、学校教育方針、学校像に基づき、学校の実態、実情、抱えている課題の説明により、それぞれ委員間の認識が共有された。
- ・基本方針について詳細な説明を受け富塚小コミュニティ・スクールや富塚キャリア教育等による、考え行動する育成について熟議ができた。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ・グループ討議をすることで委員から活発な意見が出て熟議が充実したものになった。特に保護者や地域住民がどのようにかかわるべきか提案や意見交換ができた。
- ・教育活動の充実につながる学校支援活動について理解でき、熟議を重ねることができた。
- ・立場の異なる委員から多面的な意見を得て熟議ができた。
- ・登下校時の見守り活動はかなり定着していて、子供達も安心して登校できていると思う。小学校は教師と生徒だけでなく、多くの人の協力のもと成り立っていることが感じられる。
- ・キャリアパスポートを活用し、目標を立てること、学んだことの振り返りをしながら成長と共に経験を積むことで1年後、3年後・・・将来の夢が持てるようになるというと思います。
- ・学校運営に対する様々な方針について協議会にて熟議が出来たと思う。子供たちの安心安全に対する環境整備など今後更なる改善を行う趣旨の内容が熟議出来た。
- ・いじめ防止対策について学校側より説明を受け、未然防止、早期発見の取り組みに対して、生徒指導、校内いじめ対策委員会の開催、各種アンケートの実施が行われており相互の理解を得ることができている。
- ・学校側からの積極的な取り組み説明や委員からの報告や意見交換により学校支援活動が理解できた。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ・十分な情報発信とまではいかないが、地域自治体で危険箇所等を共有することができた。これを継続することが重要だと感じている。
- ・熟議結果について十分な情報発信には至っていないと思う。
- ・自治会理事会、地域への回覧等での報告はあるが、問題や課題解決には至っていない。
- ・「コミスクだより」を見ると外への発信は感じられる。しかし、私自身がかかわっているのも興味をもって見るが、「ブログ」や「回覧」での学校だよりにどれだけの人が目を向けるかは何ともいえない。
- ・学期ごとにコミスクだよりを作成しているが、十分とは思えません。
- ・学校イベント等については自治会内でPRを行い内容の理解と参加などを促した。また、中央子供会に対するサポートにて子供会行事等も充実化を図った。
- ・それぞれの委員の立場において、立場が違っていても役割を確認し学校側が求める経営構想に基づき情報発信を行った。（グループ協議においても、地域と学校側との情報交換ができた）
- ・地域団体の特色を生かし連合連絡会等での協力者への発信を行った。

<評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- ・ 熟議の取り組み方についてはよかったが、それを保護者や地域住民にもっと発信して共有することが必要だと感じた。来年度はそれを率先してやることが目標です。
- ・ 協議会で情報発信について熟議した方がよいと思う。学校との協力体制がしっかりできているのを維持していきたい。
- ・ 地域としての問題や自治会としての課題を明らかにして、学校運営に生かしたい。
- ・ やはり「コミュニティスクール」の存在が地域と学校を結ぶという点で大きな役割を果たしていると感じた。また、今年は150周年という大きなイベントで、子供達も盛り上がり地域とのかかわりを考える機会であったと思う。イベントを通して、考えて行動する行事は必要。
- ・ 「相手の心を感じる」これができるようになればいじめ、いざずらが少なくなるのではないかと考えます。
- ・ 来期に向けた更なる安全のため、ゾーン30プラスの確実な推進
- ・ 今年度以上に学校や地域、家庭等が役割分担をしながら地域ネットワークを進め学校への支援活動を継続推進する。
- ・ 各テーマに対して支援体制の情報発信をし、さらに協議会の活動を強化していくことが必要である。
- ・ 地域においても、協議会の活動をより活発になるよう発信をしていく。

浜松市立富塚小学校運営協議会 年間計画

令和6年4月1日～令和7年3月31日

※ 委員の過半数の出席がないと開催できません。

※ 感染症の感染拡大防止等、状況により、開催が中止、あるいは延期になる場合があります。

回	日時 会場	主な内容 熟議のテーマ 等	備考
1	令和6年 4月18日 木曜日 13:30～15:30 会議室	熟議テーマ (1)学校運営の基本方針について 説明 ⇒ 質疑・応答、熟議 ⇒ 承認 (2)いじめ防止等のための基本方針について (3)夢育やらまいかCS加算分についての意見書について (4)学校運営協議会の自己評価について	・授業参観
2	7月5日 金曜日 14:00～15:00 会議室	熟議テーマ (1) 学校教育活動の取組について (2) 学校評価アンケートの項目の検討について (3) 学校の抱える課題と改善策・支援策について	
3	11月28日 木曜日 14:00～15:00 会議室	熟議テーマ (1)キャリア教育について	学校運営協議会の自己評価表 委員の意見収集⇒学校への提出 (12月16日まで)
4	令和7年 1月31日 金曜日 14:00～15:00 会議室	熟議テーマ(例) (1)学校関係者評価について 学校の自己評価(結果、分析・考察、改善方策等)の 説明 ⇒改善方策について熟議(この結果を学校関係者評 価として提出)⇒協議会終了後、見直し⇒公表⇒次年度へ 反映 (2)次年度学校運営の基本方針について 説明 (3)学校運営協議会の自己評価	